

売れ筋投資信託の振り返り

Short Review
2019年7月

資産運用研究所
主任研究員
本山 真

1. 1兆円投資信託の傾向

2018年度の公募追加型株式投資信託の新規設定は366本にとどまり、リーマンショックがあった2008年度の302本以来の水準まで減少した。そこで、今回は運用実績のある投資信託の振り返りとして、売れ筋投資信託の観点から純資産総額が1兆円を超えたことがある投資信託（ETFを除く。以下、1兆円投資信託）と一定期間での設定額が多かった投資信託（ETFを除く。以下、販売額上位投資信託）を確認する。

図表1 1兆円投資信託（設定日順）

No.	投資信託名称	日興大分類	設定日	決算回数	純資産総額の最大値（億円）	純資産総額が最大になった日付	2019年6月末の純資産総額（億円）
1	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	グローバル債券（ヘッジなし）	1997/12/18	12	57,685	2008/08/08	4,313
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	グローバル債券（ヘッジなし）	1998/04/01	12	13,375	2014/08/21	6,197
3	ニッセイ／パトナム・インカムオープン	グローバル債券（ヘッジなし）	1998/07/31	4	10,014	2005/07/07	694
4	ノムラ日本株戦略ファンド	国内株式	2000/02/02	2	11,673	2000/05/02	593
5	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	グローバル債券（ヘッジなし）	2003/04/18	12	13,266	2012/03/02	1,664
6	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	複合	2003/08/05	12	14,178	2007/06/05	3,783
7	ダイワ・グローバル債券ファンド（毎月分配型）	グローバル債券（ヘッジなし）	2003/10/23	12	17,930	2007/07/20	1,353
8	フィデリティ・USリート・ファンド B（為替ヘッジなし）	リート	2003/12/09	12	16,163	2016/12/13	6,138
9	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）	リート	2004/03/26	12	13,500	2015/03/24	4,734
10	新光 US-REIT オープン	リート	2004/09/30	12	16,084	2016/07/25	5,611
11	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	グローバル株式（ヘッジなし）	2005/02/28	12	28,469	2007/06/04	6,973
12	マイストーリー分配型（年6回）Bコース	複合	2005/05/30	6	21,974	2007/11/02	1,494
13	野村グローバル・ハイ・イールド債券投資（資源国通貨コース）毎月分配型	グローバル債券（ヘッジなし）	2010/04/23	12	11,794	2011/04/11	588
14	野村ドイチェ・高配当インフラ関連株投資（米ドルコース）毎月分配型	グローバル株式（ヘッジなし）	2010/10/28	12	13,970	2014/11/21	1,246

（出所）投資信託協会より当社作成

1兆円投資信託は図表1の14銘柄であり、そのうち11銘柄が毎月決算型である。純資産総額が1兆円を超える投資信託は、2017年12月29日時点の「新光 US-REIT オープン」が最後となったが、直近でも「ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）」、「フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド」、「フィデリティ・USリート・ファンド B（為替ヘッジなし）」が純資産総額で1位を争っている。

2. 販売額上位投資信託の傾向

次に販売額上位投資信託について、市況による銘柄の変化を確認するため、以下の4つの期間（各期間はそれぞれ1年間）における設定額上位10銘柄を図表2から図表5に示す。

期間①：家計の投資信託への資金流入が増加した2006年7月～2007年6月

期間②：サブプライム・リーマンショックにより株価が大きく下落した2008年4月～2009年3月

期間③：第2次安倍内閣への期待により株価が大きく上昇した2012年12月～2013年11月

期間④：直近1年間の2018年7月～2019年6月

図表2 販売額上位投資信託：期間①

No.	投資信託名称	日興大分類	設定日	決算回数	期間中の設定額(億円)	2019年6月末の純資産総額(億円)
1	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	グローバル株式(ヘッジなし)	2005/02/28	12	18,701	6,973
2	マイストーリー分配型(年6回)Bコース	複合	2005/05/30	6	12,883	1,494
3	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	グローバル債券(ヘッジなし)	1997/12/18	12	10,671	4,313
4	ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)	グローバル債券(ヘッジなし)	2003/10/23	12	6,567	1,353
5	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	複合	2003/08/05	12	5,157	3,783
6	りそな・世界資産分散ファンド	複合	2005/11/18	12	5,045	404
7	世界好配当株投信(毎月分配型)	グローバル株式(ヘッジなし)	2007/01/31	12	4,976	202
8	日興スリートップ(隔月分配型)	複合	2006/10/31	6	4,798	248
9	グローバルREITオープン	リート	2005/02/21	12	4,578	413
10	ノムラ日米REITファンド(毎月分配型)	リート	2004/04/30	12	4,405	309

(出所) 投資信託協会より当社作成

図表2の期間①は、国内の不良債権問題が落ちつき、経済環境が明るさを取り戻しつつあった時期に当たる。日興大分類で見ると「グローバル株式(ヘッジなし)」が2銘柄、「グローバル債券(ヘッジなし)」が2銘柄、「複合」が4銘柄、「リート」が2銘柄となっており、他の期間と比較して「複合」が多いことが特徴の1つである。期間中の設定額は3銘柄が1兆円を超えており、他の期間と比較しても設定額が多い。また、毎月決算型が8銘柄、隔月決算型が2銘柄となっており、基準価額の値上がりとともに定期的な分配金の受け取りが期待できる投資信託が上位を占めている。

図表 3 販売額上位投資信託：期間②

No.	投資信託名称	日興大分類	設定日	決算回数	期間中の設定額(億円)	2019年6月末の純資産総額(億円)
1	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	グローバル債券(ヘッジなし)	1997/12/18	12	6,670	4,313
2	UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)	グローバル債券(ヘッジなし)	2008/07/17	12	3,320	266
3	ニッセイ高金利国債債券ファンド	グローバル債券(ヘッジなし)	2006/07/21	12	2,611	290
4	野村スーパーブル・ベア5(日本スーパーブル5)	オルタナ投資	2007/05/31	1	2,496	-
5	野村スーパーブル・ベア5(日本スーパーベア5)	オルタナ投資	2007/05/31	1	2,051	-
6	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	グローバル債券(ヘッジなし)	2003/06/13	12	1,903	2,199
7	野村スーパーブル・ベア5(マネーポートフォリオ5)	その他	2007/05/31	1	1,831	-
8	ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)	グローバル債券(ヘッジなし)	2003/10/23	12	1,627	1,353
9	JPM新興国好利回り債投信(毎月分配型)	グローバル債券(ヘッジなし)	2008/01/30	12	1,534	66
10	野村新世界高金利通貨投信(毎月分配型)	グローバル債券(ヘッジなし)	2007/11/27	12	1,525	118

(注) 償還した投資信託の純資産総額は「-」とした(図表4も同様)

(出所) 投資信託協会より当社作成

図表3の期間②は、世界的な金融危機の中、日経平均が終値で7,000円台前半となった時期であった。「グローバル債券(ヘッジなし)」で毎月決算型の銘柄が7銘柄を占めており、高金利を追求した投資信託が多い。また、「オルタナ投資」に分類される国内株式のブル・ベア型の投資信託が上位になったことからマーケットの変動が大きかったことが窺える。

図表 4 販売額上位投資信託：期間③

No.	投資信託名称	日興大分類	設定日	決算回数	期間中の設定額(億円)	2019年6月末の純資産総額(億円)
1	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド	グローバル債券(ヘッジなし)	1998/04/01	12	8,561	6,197
2	新光 US-REIT オープン	リート	2004/09/30	12	7,690	5,611
3	野村ハイパーブル・ベア3(日本ハイパーブル3)	オルタナ投資	2012/06/29	1	5,902	-
4	野村ハイパーブル・ベア3(マネーポートフォリオ3)	その他	2012/06/29	1	5,325	-
5	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	グローバル株式(ヘッジなし)	2005/02/28	12	5,267	6,973
6	ダイワ高格付カナダドル債オープン(毎月分配型)	グローバル債券(ヘッジなし)	2003/05/20	12	4,997	1,403
7	フィデリティ・USリート・ファンド B(為替ヘッジなし)	リート	2003/12/09	12	4,971	6,138
8	ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)	リート	2004/03/26	12	4,698	4,734
9	日興ビコム・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	グローバル債券(ヘッジなし)	2009/07/10	12	4,194	355
10	ピクテ新興国インカム株式ファンド(毎月決算型)	グローバル株式(ヘッジなし)	2008/01/31	12	3,884	1,786

(出所) 投資信託協会より当社作成

図表4の期間③は、第2次安倍内閣への期待によって世界的な金融危機後の不透明感が払拭された時期であった。「グローバル株式(ヘッジなし)」が2銘柄、「グローバル債券(ヘッジなし)」が3銘柄、「リート」が3銘柄であり、これらの8銘柄は毎月決算型である。また、国内株式の上昇期待を反映し、ブル型の投資信託が3位になった。

図表 5 販売額上位投資信託：期間④

No.	投資信託名称	日興大分類	設定日	決算回数	期間中の設定額(億円)	2019年6月末の純資産総額(億円)
1	ビクテ・グローバル・インカム株式ファンド(毎月分配型)	グローバル株式(ヘッジなし)	2005/02/28	12	2,937	6,973
2	ブル3倍日本株ポートフォリオV	オルタナ投資	2018/06/29	1	2,924	672
3	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	複合	2012/11/09	12	2,728	5,964
4	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	グローバル株式(ヘッジなし)	2017/12/15	1	2,634	3,359
5	日経225ノーロードオープン	国内株式	1998/08/21	1	2,533	1,895
6	netWIN ゴールドマン・サックス・インターネット戦略ファンドBコース(為替ヘッジなし)	グローバル株式(ヘッジなし)	1999/11/29	2	2,500	3,025
7	ブルベア・マネー・ポートフォリオV	その他	2018/06/29	1	2,284	211
8	ひふみプラス	グローバル株式(ヘッジなし)	2012/05/28	1	2,046	5,870
9	フューチャー・バイオテック	グローバル株式(ヘッジなし)	2018/06/25	1	1,774	1,771
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投資0コース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	グローバル株式(ヘッジなし)	2014/09/16	12	1,718	2,891

(出所) 投資信託協会より当社作成

図表 5 の期間④は、米中貿易摩擦や英国の EU 離脱問題等でマーケットの変動が大きい時期が続いている。これまでの期間とは異なる投資信託が上位を占めており、毎月決算型の投資信託は 3 銘柄まで減少した。個々の投資信託の期間中の設定額は 2,000 億円弱から 3,000 億円弱となっており、期間②と同様の水準に落ち込んでいる。

3. まとめ

投資信託協会による「投資信託に関するアンケート調査報告書(金融関心層向け全国調査結果(3年ごと))」の 2015 年調査結果では、投資信託の購入目的(重複回答可)として、「老後の生活資金」の 40.1%が最も高い。本稿で確認した投資信託は、毎月決算型の投資信託が多くを占めており、「老後の生活資金」としてのニーズが窺える。

一方、日本証券業協会による「証券投資に関する全国調査(2018年12月18日)」では、「投資信託購入の理由」の回答(投資信託の保有経験者が対象)として、「長期にわたっての資産運用として」の 47.3%が最も高く、次いで「定期的に分配金が受け取れる」が 41.8%となっている。今後、高齢化社会における資産形成に資する投資信託の増加も期待される。

(END)